

北の縄文文化回廊
に向けたクラブ活動



通 信

第 16 号



野焼きの様子

目 次

1. はじめに	2
2. 平成25年度活動一覧	2
3. 各活動内容	3
4. 関連活動	6
5. 縄文を学ぶ	8

1. はじめに

平成25年度の活動は、会員の皆様のご協力のもと無事終了することができました。縄文遺跡群の世界遺産登録を願い、フォーラムや講演会に参加し、知識を深めようと努力した1年でもありました。今年度最初の活動は4月に大船遺跡内やシーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルートに取り組みに関連した清掃活動や植栽に参加しました。また、土器作りや野焼き・草木染めさらに新しい体験として岩偶づくりにも挑戦しました。今後も、函館市埋蔵文化財事業団の普及活動に参加協力し、他団体関係機関と連携しながら世界遺産登録を目指し活動していきたいと思っています。また、函館市縄文文化交流センターの記念行事にも参加協力しました。これからも、さらに縄文文化の普及活動をしていきたいと思っております。以下、平成25年度の活動内容を報告します。

2. 平成25年度 活動一覧

活動日	主な活動	参加人数	活動場所
4月13日	清掃活動	12名	大船遺跡
4月20日	第16回「北の縄文CLUB」総会	17名	南茅部公民館
6月1日	縄文染め（草木染め）	15名	南茅部公民館
8月24日	土器づくり	15名	大船遺跡展示館
10月12日	土器野焼き	10名	大船遺跡体験広場
11月9日	岩偶づくり	15名	大船遺跡体験広場
2月1日	キャンドルdeナイト	30名	縄文文化交流センター

(関連活動)

4月29日	シーニックバイウエイ 清掃活動・植栽	縄文文化 交流 センター周辺
6月8日	ひろめ舟祭り 共催(縄文・伝統文化展示コーナー)参加協力	臼尻漁港
6月10日	青函交流連携推進会議参加	函館市
8月9日	「道南縄文文化推進協議会」設立記念講演会参加	函館市
9月7日	花植え替え作業手伝い	函館市
9月22日	南茅部商工会 縄文祭り参加協力	交流センター
10月5日	日本遺跡学会(函館大会)参加	函館市
10月6日	日本遺跡学会(第2部)函館市内史跡見学	函館市
1月18日	キャンドル用ろうそく作り	南茅部公民館
1月20日	北海道新聞取材	函館市
1月22日	シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート総会参加	函館市
1月25日	キャンドル用ローソク作り	交流センター
2月16日	函館市埋蔵文化財事業団 遺跡調査報告会	交流センター
3月1日	立命館大学「津軽海峡の縄文文化」シンポジウム参加	函館市
3月21日	縄文笛コンサート参加	交流センター

3. 活動内容

(1) 清掃活動

4月13日(土)午前9時集合、史跡大船遺跡に集まり、私達と函館市埋蔵文化財事業団の皆さんと一緒に遺跡内の清掃活動をお行いました。復元竪穴住居の周りには春を告げる蕨のとうがたくさん芽吹いていましたが、馬の糞もたくさん落ちていました。広々とした遺跡内にはあちらこちらに馬の足跡や鹿の足跡もついていました。夕方になり、人の気配がなくなると子連れでやって来ては我が物顔で走り回っているのでしょうか。遺跡の管理人さんは毎朝の掃除が大変です。動物たちの落とし物の量は半端ではないからです。本当にご苦勞様です。この活動は、遺跡を見に来てくださる方達に気持ちよく見学していただけるように、少しでも役に立ちたいと毎年クラブの活動の中に取り入れています。縄文の原風景を思い起こさせるこの遺跡が大好きな私達は、これからも遺跡を守っていきたいと思っています。会員の皆さんもぜひ参加してみてもはいかがでしょうか。お待ちしております。



臭い落とし物です



復元住居のそばに芽吹くふきのとう

(2) 第16回総会

4月20日(土)午前10時、函館市川汲町にある南茅部公民館において、第16回総会がおこなわれました。今回は1階の和室をお借りして畳の部屋で行いました。最初は会長の挨拶から始まり、次に平成25年度の活動報告や決算報告、監査報告があり、皆さんに承認していただきました。続いて、新年度の活動計画案や予算案に入りいろんな要望や意見も出ました。今年度は新しい試みとして、岩偶づくりに挑戦してみることにしました。総会終了後は函館市縄文文化交流センターに行き見学会が行われ、縄文時代についての説明や各遺跡から出土した遺物の説明もしていただきました。

終了後は公民館に戻り昼食会が行われ、久々にお会いする会員さん達との会話が弾みました。

(3) 草木染め

6月1日(土)南茅部公民館調理室において、草木染めを行いました。材料は南茅部地区の野山に沢山群生している矢車草の葉を使いました。この植物はユキノシタ科、ヤグルマソウ属の多年草

で、深山の湿気のあるところに生え、5つに裂けた形の大きい葉が柏の葉に似ています。開花時期は6月から7月頃小さい白い花が密生して咲き、葉の並びが端午の節句の鯉のぼりのいちばん上の所にくるくる回っている「矢車」に似ているところから名前がつけました。私達の身近にある植物は四季を問わずたくさん生えています。染はとても楽しいです。色んな色に染め上げることができるので、参加されたみなさんは出来上がりに満足しておりました。



濃い色になってきました



染に夢中です



しっかりもんでね



仕上げは任せてね

(4) 土器づくり

8月24日(土)、史跡大船遺跡展示館にて、土器づくりを行いました。今年のテーマは、縄文早期の土器です。素材は江別産のものを使い、粘土の感触をあげながら夢中でこねておりました。

参加者は慣れたもので頭の中に設計図を描きながら、どんどん形ができていきました。お昼も近くなり、昼食の時間にはいりました。休憩時間もまた楽しいひと時です。活動の時にしか、会えない方もいるのでいろいろと話題に花が咲き、話に終止符が付きません。午後1時になり、また土器作り開始です。だんだん形ができあがってきました。いよいよ文様付けです。撚り糸で縦や横や斜めに転がしていき、縄文土器らしくなっていました。自分の思い描いた作品ができ上がり、笑みがこぼれていました。

(5) 土器野焼き

10月12日(土)、今年の野焼きは縄文センターと合同で行いました。史跡大船遺跡体験広場に8時半に集合し、水汲みや土器の運搬、レーンのそばに薪を運ぶなど、した焼きの準備が始まります。

した焼きをするためには、まず水分をしっかり飛ばさなければなりません。そうしないと土器が割れてしまうことがあるからです。2時間半ぐらいかけてした焼きをしました。レーンの周りに土器を置いて、じっくり時間をかけて少しずつ回していきます。その後は、いよいよ本焼きに入ります。いっきに薪を燃やし、炎の中に赤くゆらめく土器はとても幻想的です。やがて、灰の中から焼きあがったそれぞれの作品に歓声が上がりました。



とても楽しいわ



なかなかいい感じ



幻想的な炎



見事な作品ばかり

(6) 岩偶づくり

11月9日(土) 史跡大船遺跡展示館において、今回初めて岩偶づくりをしました。「岩偶」とは動物やヒトのカタチをしたものが旧石器時代から作られていました。その材料には、動物の骨や石、粘土をこねて焼いたものがあります。この時代には小さなものがほとんどで、その目的はわかりませんが、お守りにしたのではないのでしょうか。そうすると、皆さんが車の中にぶら下げたり、携帯電話などにつけたりしている、マスコット・キーホルダーなどと変わらないことを考え、想像するだけで古代人の人々が身近な存在に感じられると思います。やがて、縄文時代になると、それまでのものより大型のもの、特に粘土を焼いて作った土偶が盛んに作られるようになりました。中空土偶「カックウ」がその代表です。これは、その形を身につけて持ち歩くというよりも一定の場所に置くことを前提にしたものに変わってきたのではないのでしょうか。今回は函館市南茅部地区の八木遺跡から出土した「岩偶」を参考にして、作成していきました。遺跡から出土した岩偶の石質は凝

灰岩という火山灰が固まってできた岩石です。クラブが使用した材料は滑石という柔らかい石質のものを使いました。完成品を見てください。初めてにしては、良くできたと思います。



真剣そのものですね



さすがに上手です



完成品です

(7) キャンドルdeナイト2013 (シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート)

2月1日(土) 函館市縄文文化交流センター周辺にて、キャンドルdeナイトが開催されました。今年もまた雪が沢山降り、クラブ自慢の国宝中空土偶の雪像を作りした。さすがです、慣れた手つきでいとも簡単に作り上げていきました。周りの人達も雪像の出来に感心していました。みなさんから、お褒めの言葉をいただき、さらに会員さんのご好意で演奏もしていただきました。



バランスはどう?



出来栄え最高



演奏に酔いしれて

4. 関連活動

(1) 清掃活動

4月29日(月)、シーニックバイウエイ北海道の清掃活動が実施されました。この日は毎年「シーニックの日」に制定され、地域情報の発信場所や観光客が多く集まる場所で清掃活動が実施されているものです。この日は天気もよく春らしい暖かい日で、私達クラブも函館・大沼・噴火湾ルートの参加団体のメンバーとして、訪れる人達に気持ちよく観光していただきたいという思いから活動に参加しています。清掃場所は函館市縄文文化交流センター周辺です。手にヒバサミやゴミ袋を持って清掃して歩きました。終了後は函館市埋蔵文化財事業団が行った植栽のお手伝いをし、可憐な花をプランターに植える作業をしました。



(2) ひろめ舟祭り「縄文文化交流コーナー」

南茅部地域にある臼尻漁港で、平成25年6月8日(土)に第28回函館市ひろめ舟祭りが開催されました。南かやべ縄文文化創生の会との共催で「縄文文化交流コーナー」を設け、恒例の勾玉作り体験と火起こし体験を、来場した方達に楽しんでいただきました。勾玉作りでは艶やかな勾玉が出来上がると、友達・兄弟同士で見せ合っていました。

火起こしでは、道具を3セット用意しましたが、大人から小さな子供まで順番待ちができるほどの人気でした。あまりにも参加者が多いため、板の火きり臼部分が瞬く間に貫通、新たに火きり臼を作らなければならない事態に追われました。そのほか、「子供の遊び」として、竹馬やお手玉の体験も行いました。竹馬、とは言いますが南茅部地域の物は木製です。子供の頃昆布などを干すときに使う杉製の桁のいらなくなったものをもらって作ったものです。昔を思い出してか懐かしそうに乗ってみる人もいました。今回は、勾玉を作る・火を起こす・竹馬に乗るなど我を忘れて楽しむことが目的です。色々なことに挑戦して楽しみましょう。



火おこしに夢中です



ペンダントづくり

(3) 「南茅部商工会縄文まつり」

函館市縄文文化交流センター（臼尻町）の開館2周年を記念して「南茅部商工会縄文祭り」が同センターにて開かれました。地元の高中生や函館市事業団の方達や当クラブのメンバーも参加し、縄文ファッションショーが行われました。とても新鮮で華やかでした。センター内では体験コーナーが設けられて、クラブのメンバーもお手伝いに入り勾玉作りの体験や火起こし体験に協力させていただきました。中には家族連れの方もいて大変喜んで行かれました。



火起こし楽しいよ



家族でいいですね



お手伝いお疲れ様

5. 縄文を学ぶ

(1) 環太平洋の文明拠点：津軽海峡圏の縄文文化

3月1日(土)立命館大学環太平洋文明研究センター主催の函館シンポジウムが行なわれました。NPO法人函館市埋蔵文化財事業団が事務局になっており、当クラブの会員さん達や、会場にはたくさんの方達でいっぱいでした。基調講演では安田喜憲先生のトークが素晴らしく、みなさん聞き入っておりました。パネルディスカッションではパネリストである事業団の坪井氏が南茅部縄文遺跡群の発掘調査と普及活用の取り組みについて話されました。とてもわかりやすく、聞いている私達もとても勉強になりました。今後このようなシンポジウムが何度もあればいいなと思いました。



安田先生による基調講演

2014年8月31日 第16号発行
発行 北の縄文CLUB
連絡先 北海道函館市白尻町 603-1
特定非営利活動法人
函館市埋蔵文化財事業団内
TEL 0138-25-5510
FAX 0138-25-5606